

## 平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月14日

上場取引所 大

上場会社名 サンコーテクノ株式会社  
 コード番号 3435 URL <http://www.sanko-techno.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 洞下 英人  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長 (氏名) 佐藤 静男

TEL 04-7178-5530

四半期報告書提出予定日 平成24年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	6,814	4.3	354	55.1	340	65.8	144	44.2
24年3月期第2四半期	6,534	1.7	228	33.9	205	24.9	100	4.9

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 166百万円 (102.2%) 24年3月期第2四半期 82百万円 (9.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	70.97	70.90
24年3月期第2四半期	49.21	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	13,622	6,872	49.3
24年3月期	13,504	6,767	49.1

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 6,719百万円 24年3月期 6,635百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	35.00	35.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	35.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,950	7.9	660	13.2	600	2.8	350	22.6	172.01

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 有  
④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)  
② 期末自己株式数  
③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期2Q	2,186,352 株	24年3月期	2,186,352 株
25年3月期2Q	151,669 株	24年3月期	151,593 株
25年3月期2Q	2,034,719 株	24年3月期2Q	2,034,759 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 平成24年5月15日に公表いたしました連結業績予想につきましては、平成24年11月8日付にて第2四半期累計期間を修正しております。
- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。
- なお、当社は平成24年11月22日に機関投資家・アナリスト向け決算説明会を開催する予定であります。この決算説明会で配布予定の資料につきましては、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定であります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	10
(5) セグメント情報等 .....	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	11
(7) 重要な後発事象 .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、復興需要やエコカー補助金などの政策効果もあり一部持ち直しの様子は見せましたが、EUや新興国の景気減速や円高の長期化などの要因により、先行き不透明な状況が続きました。

当社グループが関連する建設市場におきましては、東日本大震災の復興需要や民間設備投資が緩やかに回復してきましたが、当社主力製品が使用されるコンクリート等の建設資材の不足や人員不足により工事の着工ペースが遅れております。

このような状況のもと、当社グループでは、主力製品のあと施工アンカーの売上が好調であったほか、FRPシートの需要が倍増したことを受けて業績は堅調に推移しました。また、利益面では、製造原価の低減努力や販売管理費の節減等により、前期比で大幅に向上しました。このほか、耐震改修現場向けドリルビット等の新製品発売や太陽光発電市場向けの製品を本年7月1日施行の「再生可能エネルギー全量買取制度」に速やかに対応するべく販売体制の構築に取り組んでまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は6,814百万円（前年同四半期比4.3%増）、営業利益354百万円（同55.1%増）、経常利益340百万円（同65.8%増）、四半期純利益は144百万円（同44.2%増）となりました。

各セグメントの業績は以下のとおりであります。

## ①ファスニング事業

建設資材の不足や人員不足により工事の着工に遅れがでましたが、先送りされていた耐震関連工事の発注が一部回復してきたほか、首都圏における再開発需要を受けて、主力製品である金属系・接着系アンカーや電動油圧工具の販売が順調に推移しました。

この結果、当セグメントの売上高は5,414百万円（前年同四半期比4.3%増）、セグメント利益は364百万円（同44.3%増）となりました。

## ②リニューアル事業

FRPシート関連製品や外壁補修関連製品が順調に推移しました。また、中規模の太陽光発電物件の受注が好調に推移しました。

この結果、当セグメントの売上高は1,173百万円（同7.4%増）、セグメント利益は7百万円（前年同期はセグメント損失29百万円）となりました。

## ③センサー事業

電子基板関連で医療向けの製品が好調に推移しましたが、アルコール測定器の売上が伸び悩みました。

この結果、当セグメントの売上高は269百万円（同12.7%減）、セグメント損失は31百万円（前年同期はセグメント損失2百万円）となりました。

なお、数値にはセグメント間取引を含んでおります。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末より118百万円増加して13,622百万円となりました。これは主として流動資産その他が減少した一方、たな卸資産が増加したことによるものであります。

負債の合計は前連結会計年度末より13百万円増加して6,750百万円となりました。これは主として役員退職慰労引当金が減少した一方、支払手形及び買掛金が増加したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末より104百万円増加して6,872百万円となりました。これは主として利益剰余金が増加したことによるものであります。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

当連結会計年度における日本経済の先行きは、震災からの復旧・復興による内需押し上げによる下支えはあったものの、EUや新興国経済の成長減速、そして円高など数多くの問題を抱えており、依然として不透明感が漂っております。建設業界におきましても、震災の復旧・復興需要や民間設備投資に一部明るさがみえてきましたが、当社主力製品が使用されるコンクリート等の建設資材の不足や人員不足により工事の着工ペースが鈍っております。

このように、外部環境は依然として厳しい状況にあるなか、当社グループでは主に建物の維持保全分野や環境分野での需要増に積極的に取り組んでおります。とくに環境分野においては、自然エネルギーを活用した太陽光発電事業の計画が相次ぐ中で、当社製品・工法ニーズが高まっており、今後更なる需要増が予想されます。

なお、通期業績予想につきましては、先行き不透明な外部環境が続くものと想定し、今後の進捗状況を鑑みて判断していくため、前回から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び一部の国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,335,047	1,307,629
受取手形及び売掛金	※4 2,953,551	※4 2,913,274
たな卸資産	※1 2,387,373	※1 2,616,644
その他	734,833	599,359
貸倒引当金	△23,387	△4,940
流動資産合計	7,387,419	7,431,967
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,296,645	1,274,757
土地	3,009,367	3,010,267
その他(純額)	416,325	547,858
有形固定資産合計	4,722,338	4,832,883
無形固定資産		
投資その他の資産	※3 1,280,607	※3 1,248,745
固定資産合計	6,117,332	6,190,868
資産合計	13,504,752	13,622,835
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,013,850	1,185,306
短期借入金	3,808,493	3,784,548
未払法人税等	98,956	111,558
賞与引当金	133,414	143,033
その他	390,706	341,579
流動負債合計	5,445,421	5,566,025
固定負債		
長期借入金	21,400	7,792
退職給付引当金	925,896	958,037
役員退職慰労引当金	229,652	26,885
その他	114,601	191,748
固定負債合計	1,291,549	1,184,462
負債合計	6,736,971	6,750,488

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	768,590	768,590
資本剰余金	581,191	581,191
利益剰余金	5,684,029	5,757,218
自己株式	△244,111	△244,258
株主資本合計	6,789,701	6,862,741
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△15,629	△21,190
為替換算調整勘定	△138,959	△122,398
その他の包括利益累計額合計	△154,588	△143,588
新株予約権	—	9,411
少数株主持分	132,668	143,783
純資産合計	6,767,781	6,872,347
負債純資産合計	13,504,752	13,622,835



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	6,534,599	6,814,743
売上原価	4,504,382	4,669,208
売上総利益	2,030,216	2,145,534
販売費及び一般管理費	※ 1,801,505	※ 1,790,722
営業利益	228,711	354,812
営業外収益		
受取利息	5,362	4,472
受取配当金	1,345	1,422
仕入割引	23,187	19,913
投資不動産賃貸料	15,223	15,346
持分法による投資利益	1,260	1,751
その他	9,177	16,843
営業外収益合計	55,557	59,749
営業外費用		
支払利息	12,127	9,859
売上割引	41,531	45,794
その他	25,391	18,653
営業外費用合計	79,049	74,306
経常利益	205,218	340,255
特別利益		
固定資産売却益	5,187	—
特別利益合計	5,187	—
特別損失		
固定資産除却損	3,890	1,594
役員退職慰労金	—	72,162
その他	5,884	800
特別損失合計	9,775	74,557
税金等調整前四半期純利益	200,631	265,698
法人税等	92,732	112,736
少数株主損益調整前四半期純利益	107,898	152,961
少数株主利益	7,761	8,557
四半期純利益	100,137	144,404

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	107,898	152,961
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,467	△5,565
繰延ヘッジ損益	△1,453	—
為替換算調整勘定	△26,579	19,114
その他の包括利益合計	△25,565	13,549
四半期包括利益	82,333	166,511
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	78,813	155,366
少数株主に係る四半期包括利益	3,519	11,144

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	200,631	265,698
減価償却費	112,965	112,259
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△40,147	31,977
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	4,053	△202,767
賞与引当金の増減額 (△は減少)	8,356	9,618
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△15,821	△25,042
受取利息及び受取配当金	△3,373	△12,309
支払利息	6,182	9,859
有形固定資産売却損益 (△は益)	△5,187	23
有形固定資産除却損	3,885	565
役員退職慰労金	—	72,162
売上債権の増減額 (△は増加)	△23,182	43,435
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△426,088	△224,250
仕入債務の増減額 (△は減少)	241,171	171,483
その他	39,833	176,655
小計	103,278	429,369
利息及び配当金の受取額	3,232	11,808
利息の支払額	△7,093	△9,789
役員退職慰労金の支払額	—	△72,162
法人税等の支払額	△91,431	△94,027
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,985	265,198
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△32,973	△216,618
有形固定資産の売却による収入	51,962	4
貸付けによる支出	△19,327	△16,080
貸付金の回収による収入	25,783	20,992
その他	△26,512	5,875
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,066	△205,826
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の増減額 (△は減少)	45,360	△20,000
長期借入金の返済による支出	△83,738	△22,843
自己株式の取得による支出	—	△147
配当金の支払額	△60,697	△71,299
少数株主への配当金の支払額	△30	△30
その他	△378	△268
財務活動によるキャッシュ・フロー	△99,484	△114,589
現金及び現金同等物に係る換算差額	△13,228	10,883
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△105,793	△44,333
現金及び現金同等物の期首残高	1,379,366	1,313,914
現金及び現金同等物の四半期末残高	※ 1,273,573	※ 1,269,580

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額(注2)
	ファスニング 事業	リニューアル 事業	センサー事業			
売上高						
外部顧客への売上高	5,190,735	1,081,531	262,332	6,534,599	—	6,534,599
セグメント間の内部売上高 又は振替高	699	11,172	46,126	57,998	△57,998	—
計	5,191,434	1,092,704	308,458	6,592,598	△57,998	6,534,599
セグメント利益又は セグメント損失(△)	252,801	△29,440	△2,369	220,990	7,721	228,711

(注) 1. 調整額はセグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社費用であります。  
2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額(注2)
	ファスニング 事業	リニューアル 事業	センサー事業			
売上高						
外部顧客への売上高	5,401,664	1,170,509	242,569	6,814,743	—	6,814,743
セグメント間の内部売上高 又は振替高	12,848	2,714	26,631	42,193	△42,193	—
計	5,414,513	1,173,223	269,200	6,856,937	△42,193	6,814,743
セグメント利益又は セグメント損失(△)	364,797	7,539	△31,657	340,679	14,132	354,812

(注) 1. 調整額はセグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社費用であります。  
2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象  
該当事項はありません。